

# 福久町 町会だより

平成28年3月発行

## ☆福久町町会 福久町生産組合

皆様には、日ごろから町会運営・生産組合運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、去る1月11日に生産組合、町会の定例総会が開催され、前年度の決算報告や、新年度の事業計画、役員改選などの議案が何れも執行部提案どおり承認されました。

引き続き、2月21日に開催された生産組合委員会及び町会班長会を経て、以下のとおり平成28年度の役員が決定しました。

新執行部一同、引き続き「安全・安心、活力ある町づくり」を目指して、町会運営に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## ★平成28年度役員

町 会				生 産 組 合			
町 会 長	前田 光一	258-1604	9班	生産組合長	宮永 仁志	258-1633	3班
副 町 会 長	長岡 暁弘	258-6369	6班	副生産組合長	穴瀬 信三	258-1273	2班
//	中野 誠	258-4287	15班	//	浦 勝利	258-2442	5班
//	福田 力	258-3219	5班	//	前田 信司	258-1585	4班
//	東 長仁	258-1554	10班				
会 計	林 康彦	258-1555	9班	会 計	元林 忠治	258-1346	6班

幹 事	中川 雅光	258-0580	3班	幹 事	表 道和	257-1655	5班
相 談 役	中川 武	258-2447	15班	相 談 役	奥野 純夫	258-3246	7班

## ★平成28年度班長（町会）

1班	橋爪 和夫	6班	向 秀明	11班	山田 英嗣	16班	丸山 貞和
2班	中村 涉	7班	河内 司	12班	原田 外紀枝	17班	清水 和之
3班	中川 隆秀	8班	西嶋 敏雄	13班	笹島 武史	18班	高田 信次
4班	向 直樹	9班	石黒 義明	14班	前浜 大八	19班	石田 克裕
5班	伊室 秀晃	10班	源大 正弘	15班	苗島 豊	20班	山岡 史昂

★平成28年度委員（生産組合）（注）班区分は生産組合の班割りです

1班	橋爪 和夫	4班	福田 進	7班	西 啓子	委員長	中村 賢一
2班	中村 賢一	5班	奥村 和夫	8班	石橋 春子	副 //	前田 良松
3班	海 吉勝	6班	前田 良松	9班	堂口 健一	副 //	堂口 健一

★生産組合委員会・町会班長会

○ 2月21日午後1時から、今年最初の委員会が開催され、以下の事項について話し合いました。

- ・委員長・副委員長の選出
- ・今年度事業計画の説明
- ・用水の改修状況と今後の工事予定について
- ・生産組合役員の引継ぎ月の変更について（1月⇒4月：年度による引継ぎ）

○ 2月21日午後2時から、班長会が開催され、以下の事項について話し合いました。

- ・班長の役割と協力について説明
- ・今年度の事業計画の説明
- ・町会役員の運営等に関する意見・要望について
- ・町会役員の引継ぎ月の変更について（1月⇒4月：年度による引継ぎ）

福久地内の道路状況（陥没・段差）の改善に関する話題が多くありました。これらの意見、要望に関しては、執行部の中で議論を重ね、対応していきたいと思えます。

★町会からのお願いとお知らせ

○ 依然として、時間外にゴミを出している方がいるとの声が聞かれています。

搬出時間（6時半～7時半）の厳守をお願いします。

皆さんでルールを守り、住みやすい町会にしたいと思います。またゴミ当番の方は、最後にネットが飛ばないように重石等の御配慮を併せてお願い申し仕上げます。

○ 外灯の修理・取替えは、東洋電波サービス（井村さん）☎258-1126 に連絡して下さい。

○ 福久会館の使用申込みは、副町会長（会館担当）の長岡暁弘（6班）☎258-6369 へ連絡をお願いします。（先に使用状況の確認をお願いします）

鍵の貸出は、長岡または、会計の林康彦（9班）☎258-1555 に連絡して下さい。

○ 千坂校下町会連合会ブログ（<http://www.chisaka-kanazawa.jp>）をご覧ください。

各町会の様子や公民館からの回覧を見ることができます。

回覧物が早くご覧になれますので、回覧等が遅くて困っている方は利用してみてください。

## ☆ 福久町 一口メモ

### ○ 磐持ち石について

- 石を持ち上げカくらベ

これらの石には、一つ一つに名前がつけられ、戦時中の昭和14年、15年頃までは、神社の祭りでは欠くことのできないものだった。スポーツや娯楽のない時代で、この石を担いで競う『磐持ち石大会』が人気を集め、境内に集まった町会の人達は熱狂して、若者たちが力自慢を誇りあった。

石には、最小二十貫から三十、四十、四十五、五十貫と刻まれていて、何貫の石を担ぎ上げたかで順位が決まった。最高の五十貫を長く持ち続けた者が横綱として力持ちの栄誉が与えられた。

また、他の町会の祭りにもでかけ、力を誇示することもあったという。

- 石に存在感を示す名称

現在、磐持ち石が、はっきりと残っているのは、福久町の瓊瓊杵神社の境内入口左の松の周囲に、大小、七個の石が整然と並べられ、記念として大事に保存されている。その中には、はっきりと四十五貫と刻まれたものがあり、当時の貫目を示している。

四十五貫：168.75kg

参考文献：千坂公民館

『千坂の歴史・あれこれ談義』

